

事業名 CD	0110060305	生涯学習フェスタ事業	
細分化した事業名		生涯学習フェスティバル実施事業	
事業担当課室 CD	500100	教育課	整理コード*

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あふれるまちづくり	
	中項目	いつまでも生きがいを持って暮らせるまちづくり	
	小項目	生涯学習の推進	
関連する個別計画等	社会教育計画	根拠条例等	公民館設置及び管理に関する条例
関連する事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民一人ひとりの生涯学習への意欲を高めるとともに学習活動への参加を促進するための契機とする。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	市民
これまでの改善経過	平成13年度は文部科学省の委託による「生涯学習まちづくり全国大会」も合わせて開催した。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	<p>〈実施・運営方法〉 □市 ■委託 □補助金 □その他()</p> <p>生涯学習フェスタ実行委員会へ委託</p> <p>①実践発表>モデル公民館(穂坂町三ツ沢分館)・モデル校(穂坂小学校)の活動内容の報告</p> <p>②記念講演>「子供を叱れない大人たちへ」、落語 出演:桂 才賀</p>
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	多くの市民に参加してもらい、本事業を契機として市民一人ひとりの生涯学習への意欲を高め、生涯学習まちづくりに繋げていく。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	1,720	1,944	1,781
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,720	1,944	1,781
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	0.25	0.50	0.35
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	1,727	3,412	2,351
D	総事業費(A+C) (千円)	3,447	5,356	4,132
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	129 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			20年度	21年度	22年度
活動指標	実践発表件数	(団体・個人)	2	2	2
	講演・公演数	(講演・公演)	1	1	1
	参加者数	(人)	672	715	838
成果指標	満足度(アンケートによる) (算出式数値)	良かった/回収数(%) 181人/271人	75.00	80.55	66.67
効率指標	参加者一人当たりコスト (算出式数値)	総事業費/参加者数(円) 4,132千円/838人	5,129	7,490	4,930

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 多数の参加者があり、1日を通して幅広く市民が生涯学習への意欲を高めることができた。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない 参加者の満足度が下降したので、内容の見直しが必要である。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 文化祭との共同開催により会場費等の経費節減に努めた。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 さらなる効率化を図り、成果を上げる。	(2) 24年度	(3) 23年度 社会情勢等を的確に把握し、実行委員会で内容を検討する。
	22年度の改善計画 実行委員会にて検討を行う。		
22年度の改善結果 文化祭との共同開催により会場費等の経費節減に努めた			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 地域での生涯学習活動や自己意識の向上のため、助長となる内容とする。			
課長所見	生涯学習宣言都市に相応しい事業であり、モデル分館・モデル校の実践発表等を行い市民が生涯学習への意欲を高めることができている。今後、更に内容の充実を図る。		

事業名 CD	0110060305	生涯学習フェスタ事業	
細分化した事業名	生涯学習推進支援事業		
事業担当課室 CD	500100	教育課	整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あふれるまちづくり	
	中項目	いつまでも生きがいを持って暮らせるまちづくり	
	小項目	生涯学習の推進	
関連する個別計画等	社会教育計画	根拠条例等	公民館設置及び管理に関する条例
関連する事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	生涯学習を推進する公民館等に対する支援及び指導
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	生涯学習推進モデル指定分館(穂坂町三ツ沢分館) 生涯学習推進モデル指定校(穂坂小学校) 地区公民館 分館
これまでの改善経過	17年度より補助金額を減額し、生涯学習バス補助金を廃止した。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	<p>〈実施・運営方法〉 □市 □委託 ■補助金 □その他()</p> <p>①生涯学習推進モデル分館への補助金交付(実施1件)補助金額10万円 ②生涯学習推進モデル校への補助金交付(実施1件)補助金額10万円 ③地区への生涯学習推進事業実施補助金交付(実施11件)補助金額81万円 ④分館の生涯学習まちづくり学習会補助金交付(実施88件)補助金額132万円</p>
事業の成果 (どのような状態にしたのか) (どのような効果を得るのか)	生涯学習への関心を高め、多種多様な学習機会の提供を増やすために、多くの地区に事業費を活用してもら

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	2,330	2,360	2,330
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,330	2,360	2,330
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	0.20	0.50	0.35
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	1,382	3,412	2,351
D	総事業費(A+C) (千円)	3,712	5,772	4,681
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	146 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			20年度	21年度	22年度
活動指標	①生涯学習推進モデル補助件数	(件)	2	2	2
	②地区公民館への補助件数	(件)	11	11	11
	③分館への補助件数	(件)	88	90	88
成果指標	③の事業実施割合	88/94件(実施/実施予定)(%)	93.62	95.74	93.62
効率指標	1公民館当たり投入職員数(算出式数値)	担当職員数/総公民館数 0.35人(年)/11公民館	0.01	0.04	0.03

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 活動費を補助することにより、地域で特色ある自主的な活動が展開される。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない モデル分館、モデル校共に「生涯学習フェスティバル」で実践発表を行い、それぞれ工夫を凝らした活動を多くの参加者の前で報告した。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない すべての地域で活動実績の報告があり、コストに見合う取組みが行われている。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 補助対象事業のさらなる細かな評価を行い、補助金額や事業内容の査定が必要と思われる。	(2) 24年度	(3) 23年度 現行のとおり
	22年度の改善計画 現行のとおり		
22年度の改善結果 現行とおり実施			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 地域での活動が今以上に活性化が図られるよう、学識経験者を活用し、社会教育、文化継承など生涯学習のまちづくりを支援していく。			
課長所見	生涯学習宣言都市の柱は地区公民館の充実であるとする。地域にあった公民館活動を住民自ら計画に参画し、地域の活性化に繋がる活動を期待するものである。今後も補助対象事業の評価、精査をし、支援していく。		